

1 まちづくりコーディネーターについて

(1) 令和3年度の活動実績

ア 派遣

まちづくり活動の現場へ赴き、企画会議や講座におけるファシリテーションの他にイベントの取材活動などを行う。

《令和3年度実績 6件》 ※令和2年度実績 7件

派遣依頼元	派遣内容	人数	出勤回数
自治会	住民会議のファシリテーション	2	2
市	コーディネーター部会に係るヒアリング（スポーツ推進委員）	1	1
	コーディネーター部会に係るヒアリング（刈谷西部地区自治会）	2	1
その他団体	実行委員会のファシリテーション（ワールドスマイルカーテンーツ木）	2	1
	全体会のテーブルファシリテーション（刈谷駅周辺連絡協議会）	2	1
	地区紹介パネル作成に係る取材	5	4
合計		14	10

イ まちコゼミ

まちコ同士の情報共有や活動検討の場として毎月一回開催していた定例会の代わりに、令和3年7月よりまちコ世話人の守随さん、大野さん、塚本さんが、ゼミを開催している。令和3年度末をもって守随さんがまちコ世話人を勇退されたため、令和4年度からは大野ゼミ、塚本ゼミの2つを定期的に開催し、まちコは自身が学びたい内容に合わせてゼミに参加している。

令和3年度は守随ゼミを3回、大野ゼミを8回、塚本ゼミを5回開催した。

ウ 交流会

まちコ同士の交流やスキルアップを図るための場として、例年、年2回開催している。令和3年度は、11月27日「まちコ活動収穫祭（活動情報や経験の共有等）、参加者9名」と3月5日「守随さん最終ゼミ&感謝をお伝えする会、参加者14名」に開催した。

(2) 令和4年度の活動状況等

ア 派遣

ワールド・スマイル・ガーデンーツ木実行委員会、中部地区社会福祉協議会、刈谷市自治連合会、刈谷市長寿課より、それぞれファシリテーションの依頼があった。昨年度に比べ、年度初めの依頼が多い。

イ まちコゼミ

世話人の2人が講師となり、それぞれの題目でのゼミを4月から概ね2か月に1回開講している。

大野ゼミ：オンライン支援について

塚本ゼミ：まちコ活動フォローアップについて（資料1-2）

ウ 交流会

まちコ同士の交流を深めることに重点を置き、それぞれのまちづくり活動の報告や、まちコゼミの受講状況などを話し合う場としたいと企画している。

10月15日（土）に開催予定。

エ まちコ育成講座『つなぎの学び舎』（資料1-3、1-4）

『つなぎの学び舎・実践編 みんなの対話お助け隊コース』（月1回・全5回）を6月5日（日）から実施。刈谷市民ボランティア活動センターにて開講。

『つなぎの学び舎・実践編 まちづくり活動お助け隊コース』（月1回・全5回）を10月1日（土）から開講予定。9月1日号市民だよりに受講生募集記事の掲載を予定している。

オ 広報

7月開催の自治連合会議にて、10月1日（土）から開講する『つなぎの学び舎・実践編 まちづくり活動お助け隊コース』のお知らせをした。

また、8月5日（金）に開催する『自治連合会・公民館連絡協議会合同研修会』では、講師に元世話人の守随純子さんをお招きし「めざそう！楽しいまちづくり」をテーマに講義頂く。その中で、地区や公民館活動に積極的にまちづくりコーディネーターを巻き込んでほしい旨を伝えていただく予定をしている。

【塚本ゼミ】「まちコ活動フォローアップ」

■ねらい

- ・学び舎修了生（第6期生）基礎編で作成した企画や、まちコ自身が取り組みたい企画の実践にむけた後押し・応援をすることにより、活動が継続的に取り組まれていくことを目指す
- ・まちコの派遣活動の経験を共有し、ふりかえりを通じて、まちコ同士の学びあいの場とすること
- ・まちコ自身での活動について情報共有・進捗報告を行い、まちコ同士の活動や得意とする分野を知り合うこと

1) 【プレ開催】4月19日（火）13:30～15:00／オンライン開催

『まちコ6期生フォローアップ』参加まちコ3名（5・6期生）

※6期生を中心に、まちコ同士の学びあいをテーマに企画した方に参加を呼びかけ

【プログラム】

- ・学び舎「企画書」発表（受講期間中に作成した企画内容を発表）
- ・塚本さんよりアドバイス
- ・意見交換

【感想・意見交換】

- ・ゼミでの話し合いを自身の活動に活かしたり、活動で得られた教訓をまちコとしての活動にも活かしたい。
- ・「ファンドレポート・まちづくりの活動レポート」など活動をインタビューして記事にする取組は、活動の様子を伝えられるだけでなく、自分の整理にもなる。

2) 5月27日（金）18:30～19:30／オンライン開催

『ちょっと聞きたい！くわじじと住民会議をふりかえる』 参加まちコ7名

【プログラム】

- ・『住民会議のファシリテーション』実践活動報告／まちコ6期生・桑畑さん
- ・質問・意見交換

【感想・意見交換】

- ・質問「当日、頭が真っ白になったとき、どうやって進めたか」「対立する構図や多世代の意見交換がうまく進んだきっかけとは？」「工程表は事前に地域の方も一緒に行うのか」「いざというとき、対応するポイントを知りたい」などが出された。
- ・住民会議当日だけでなく、その後、実行に移す部分でどうなっているか、事後フォローできるとよいなどの意見が出された。

3) 今後について（塚本さんより総括）

- ・まちコ自身の活動として団体・個人で活動している方は多い。ファシリテーション・マッチングが得意な方がいるので、みんなで力をあわせることでできることを広げていきたい。
- ・まちコのみなさんから活動の悩みや、企画への協力依頼などについて、みんなで知恵を出し合って意見交換したい。
- ・地域での活動もご紹介いただき、各地区の特性をふまえ、住民を交えた意見交換をする際の切り口等について意見交換する場としたい。

【次回】8月下旬「ワールドスマイルガーデン実行委員会（6月19日実施）」への派遣活動報告を予定

★はじめて派遣活動に参加したまちコさんの報告をもとに、ファシリテーションをふりかえります。

ファシリテーター・サブ担当との二人三脚の報告をご期待ください！

2022年

6/5(日)

スタート

応募締切 5/25(水)



つなぎの学び舎・実践編

みんなの対話お助け隊コース

まちづくりコーディネーター
(つなぎびと)って
どんなひと？

- まちづくりを“自分ごと”として取り組む人を刈谷で広げていくひと
- 地域活動やボランティア・NPO活動等を行う団体同士や、企業や大学等とのつながりづくりをサポートするひと

そんな「つなぎびと」となって
元気で魅力的なまちづくりを
進めていきたい人たちが
出会い、学びあう
『つなぎの学び舎』を開催します

本コースは、みんなの参加や発言
を活性化する対話や会議の進め方
について学びます



「つなぎの学び舎 ～みんなの対話お助け隊コース～」は、 こんな講座です！

楽しくって、**具体的**

- ・まちづくりでは、対話によって色々な人の立場や想いを理解し合うことがとても大事。そこで必要になる「対等な関係を作り、みんなの意見を引き出す」技術を具体的に学びます。
- ・講義を聞くだけでなく、自分の経験を振り返ったり、グループで話し合ったり、発言をホワイトボードにわかりやすく書く実技に挑戦したり…楽しみながら自らの力をつけていきます。

自分にも他者にも活かせる

- ・楽しくアイデアが生まれる話し合いを行うコツを学ぶと、自分の活動や地域など色々な場面で活かすことができます。

つなぎの学び舎・実践編 参加者募集要項

開催の目的	<p>共存・協働のまちづくりに必要な「つながりづくりの力」を育みます。目標は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単発の会議で参加者みんなの意見を引き出すプログラムを作ることができる力をつけること ・会議の目的に沿って、進行の仕方を工夫することができる力をつけること ・会議の求める成果に向けて、ステップを踏んで話し合ったり、関係づくりを進めるプロセスを作ったりすることができること
対象など	<p>・在住・在勤・在学、在活の人（定員 20 人） ※「基礎編」に続く「実践編」ですが、実践編からの受講も可能です！</p>
受講料	無料
修了の要件	原則 3 回以上の出席（全 5 回）

■応募するには

- ・裏面の申込用紙をご記入の上、郵送、FAX、メール、または直接、刈谷市市民協働課へお申込みください。
- ・申込用紙は刈谷市市民ボランティア活動センター、各市民センターなどで配布しているほか、刈谷市ホームページからもダウンロードできます。
- ・提出書類をもとに選考を行い、結果を全員にご連絡させていただきます（6月1日頃予定）。

■申込期限 2022年5月25日(水) (必着)

■申込み先 刈谷市役所 市民協働課「つなぎの学び舎」係

〒448-8501 刈谷市東陽町1-1 【TEL】 0566-95-0002 【FAX】 0566-27-9652
【E-mail】 kyodo@city.kariya.lg.jp 【HP】 <https://www.city.kariya.lg.jp/>

※この講座は、刈谷市共存・協働のまちづくり推進委員会が方針決定し、NPO法人ボランタリーネイバーズが運営支援をしています。

第1回 まちづくりコーディネートって何だろう？

6月5日(日) 13:30~16:45

ファシリテーターやまちづくりコーディネートの役割、心構えについて学びます。5回のプログラム紹介と一緒に学ぶ仲間づくりをします。

・手法/アイスブレイク、発言しやすい状況づくりなど



第2回 学びを深めるファシリテーションを考えよう

7月3日(日) 13:30~16:45

講義や一方的な情報提供にとどまらず、参加者がより学びを深める「場づくり」とは何か？どんな手法が使えるのか？を考えます。

・プログラムデザイン(全体の流れ、話し合い人数) / 手法「付箋の使い方」「ワールドカフェ」など



第3回 アイデアを生み出すファシリテーションを考えよう

7月24日(日) 13:30~16:45

たくさんの方が意見を出し合い、合意形成をする場づくり、そこでのファシリテーターの役割について考えます。

・プログラムデザイン(発散と収束) / 手法「集類法」など



第4回 ファシリテーションを体験しよう

8月7日(日) 13:30~16:45

ファシリテーターのありようやまなざしについてグループ体験やふりかえりを通して学びます。

・ファシリテーションをグループでの体験を通して学ぶ



【課題】日常生活のなかでファシリテーションを実践してみよう

講座での学びを日常の仕事や他者とのかかわりに活かしてみましよう。

講師が伴走して、参加者の取り組みをサポートします。

第5回 私の強み、活かし方を考えよう

9月11日(日) 13:30~16:45

講座で学んだファシリテーションを活かして、自分はこれからどんなまちづくりコーディネーターになりたいのか？自身の強みを活かしたまちや人とのかかわり方について考え、発表をします。



会場：刈谷市民ボランティア活動センター
刈谷市民交流センター1階
(刈谷市東陽町 1-32-2)



講師：稲葉久之 氏
プロ・ファシリテーター
名古屋都市センター講座講師
愛知淑徳大学、金城学院大学等で
非常勤講師



まちづくりコーディネーター育成講座



まちづくり活動する人を
応援したい！

地域の活動がもっと活発に
なったらいいな！

聞き上手になって
周りの人を支えたい！

…と思っている人におすすめ！

「学び」と
「仲間づくり」がグンと
進む連続講座です。

まちづくり活動お助け隊コースとは？
地域交流イベントなど、様々なまちづくり活動の運営支援に役立つスキルを学びます。「活動の取材」「まちづくり相談事の対応」「イベント準備」「ボランティア募集」などが学べる実践的な講座です。

実習として、刈谷市内のまちづくり事業などを取材し、レポートを作成します。

開催日：令和4年10月1日(土)～令和5年2月18日(土)

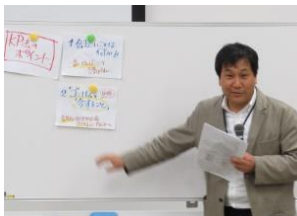
申込期間：令和4年9月21日(水)

■講座内容

<p>10月1日(土) 13:30~16:45</p> <p>第1回 「まちづくりコーディネート」とは</p> <p>講師:^{つかもとひろあき}塚本裕章さん(まちづくりコーディネーター世話人)</p> <p>まちづくり活動の「伴走支援」とはどんな形のものがあり、まちづくりコーディネーターが実際にどんな活動をしているか、活動を支援している世話人からお話を聞きます。</p>		
<p>11月5日(土) 13:30~16:45</p> <p>第2回 相談・取材での「話の聴き方」</p> <p>講師:^{こめだまさひろ}米田正寛さん(刈谷市民ボランティア活動センター センター長)</p> <p>相手のホンネを引き出せる話の聴き方って? 相談や取材を一度きりで終わらせず、その後のサポートにつなげるコツも学びます。</p>		
<p>12月17日(土) 13:30~16:45</p> <p>第3回 地域イベントの準備をサポートするには</p> <p>講師:^{いけだてつや}池田哲也さん(一般社団法人地域問題研究所 主席研究員)</p> <p>イベントの準備は、企画・広報・人やモノの手配など多岐にわたります。いつ、どんな準備をしたらよいかノウハウを学びます。</p>		
<p>実習 12~1月(随時) まちづくり活動の取材・レポート作成</p> <p>「かりや夢ファンド」採択事業などから取材対象の市内まちづくり活動を選び、打ち合わせやイベントの様子を取材します。その内容をレポートとしてまとめます。</p>		
<p>1月22日(日) 13:30~16:45</p> <p>第4回 ボランティア・助っ人募集をサポートするには</p> <p>講師:^{おだもとき}織田元樹さん(特定非営利活動法人ボラみみより情報局 代表)</p> <p>ボランティアを募集したい、こんなことができる人を探している……。多様な人に関わってもらう意義や、スムーズに受け入れる方法を学びます。</p>		
<p>2月18日(土) 13:30~16:45</p> <p>第5回 取材レポート発表会</p> <p>講座での学び合いの成果として、実習で作成した市内まちづくり活動の取材レポートを発表します。今後の活動目標を各自が宣言します。</p>		

会場:刈谷市民ボランティア活動センター 刈谷市民交流センター1階(刈谷市東陽町1-32-2)

※講師の都合などにより、日程や内容を一部変更する場合があります



ファシリテーター:^{ふじもり みきひと}藤森 幹人

NPO 法人 ボランタリーネイバーズ 理事/対話計画 代表

NPO 活動を支援する“中間支援組織”で様々なまちづくりや、行政と市民の協働に関わってきました。この講座でみなさんが楽しく学び合えるようサポートします。

■対象・定員

定員：20名

在住・在勤・在学の人または市内で自主的に公益的な活動をしている人

※「基礎編」に続く「実践編」ですが、実践編からの受講も可能です。

■受講料 無料



■つなぎの学び舎とは

刈谷市の「共存・協働のまちづくり」を進めるにあたり、まちづくり活動に取り組むボランティア・市民活動団体や市民・企業・大学等のつながりづくりをサポートする役割が重要です。

そんな「つなぎびと」になるために、同じ思いを持つ人が集まり、学び合う場が「つなぎの学び舎」です。

■受講で身につけたい力（目標）

- まちづくり活動の成果・課題を整理し、改善や今後の成長を団体と一緒に考えてもらえる力
- まちづくり活動の企画・運営のプロセスに伴走し、さまざまな人・団体・情報とのつながりづくりをサポートできる力
- 自分が行うまちづくり活動やネットワークを持つ領域で、さまざまな人・団体とつながり、広がりや効果を発展させていくことができる力

■修了の要件

- ・原則3回以上の出席（全5回）と、実習等を通じた取材レポートを提出した方
- ・基礎編と実践編の修了者は、「まちづくりコーディネーター」に登録していただき、まちづくりの活性化のために活躍していただくことを期待しています。

■申込方法

- ・所定の申込用紙にご記入の上、郵送、FAX、メール、または直接、刈谷市市民協働課までお申込みください。
- ・申込用紙は刈谷市民ボランティア活動センター、各市民センターなどで配布しているほか、刈谷市ホームページからもダウンロードできます。
- ・定員に達した場合は抽選とし、結果を全員にご連絡します（9月下旬予定）

■申込先・問合せ先

刈谷市役所 市民協働課 〒448-8501 刈谷市東陽町1-1

【TEL】 0566-95-0002 【FAX】 0566-27-9652 【E-mail】 kyodo@city.kariya.lg.jp

【HP】 <https://www.city.kariya.lg.jp>

※この講座は、刈谷市共存・協働のまちづくり推進委員会が方針決定し、NPO法人ボランタリーネイバーズが運営支援をしています。

まちづくりコーディネーター（まちコ）のネットワーキングに関わるヒアリング

①スポーツ推進委員

●2021年11月25日実施 ●まちコ：桑畑

■スポーツ推進委員の活動概要（山口博子さん（まちコ）、近藤さん）

- ・市スポーツマスタープランで定める「一市民スポーツ」を目指し、健康で生きるためスポーツにつながるきっかけづくりに取り組む。
- ・公民館の推薦による2年任期の非常勤公務員。総勢50人。総合型スポーツクラブの設置以後、地区とのつながりができた。地区推薦により体制が整えられた。
- ・月1回役員会議の企画委員会で情報共有する。北中南3支部を設け、住民数により委員の配置数を決める。自分たちで時間をかけて今の体制を組み立てた。

(1)スポーツ推進委員の得意とする内容

- ・活動は大きく2種。主催イベント（例：GOGOウォーキング、ノルディックウォーク等）と、派遣依頼を受けて運営するイベントとがある。
- ・ニュースポーツが得意。レクリエーションのような誰でも取り組みやすいスポーツを広める役割である。
- ・派遣は、得意な人が得意な場面に行く。内部で調整し、3名を派遣。うち一人を長とする。
- ・地区や学校、子ども会の行事への派遣依頼や、定例のイベントなど、毎年数十件を実施。活動は毎週行っているが、基本的に依頼のあった地区の委員が担当しており、分担できている。

(2)まちコとの連携への期待

- ・派遣依頼を受けたら、参加者を事前に把握して、大人にはゲーム性をもたせ小さい子は鬼ごっこなど参加してよかったと思ってもらえる工夫をする。スポーツだけでなく遊びに長けた人などいろいろな人がおり、メンバー内で対応している。→自己完結しており、連携のニーズは思い当たらない様子
- ・参加者を増やすことは課題がある。イベントを知らなかったと言われることもあり、ホームページや回覧板だけでは周知につながらない。スポーツに興味がある人は情報を集めるが、興味がない人の目に届いていない。興味がない人たちこそ参加してもらえると、一市民スポーツの実現へ向けた手ごたえを感じる。

(3)地域や他機関との関係

- ・地区が主催するイベントの一部の運営することが多い。地区の保健推進員とコラボして打ち合わせをしてコースを決めたり、ソフトボール大会に付随するイベントの運営を任せられたこともある。ウォーキングのコースづくりを担当したこともある。
- ・スポーツ課と頻りに連絡を取り合い、相談できる関係性があり、その他と連携を図ることを考えたことがなかった。存在が周知されていて、スポーツ推進委員へ直接依頼がある。障がい者デイサービスセンターや、長寿課からは体力測定の依頼があったり、社協から、ポッチャの説明をしたいなど声がかかる。
- ・地区で例年行うイベントはスポーツ推進委員に依頼することが引き継がれていたり、スポーツ推進委員を務めた方が地区委員に就いたりするなど、地区とのパイプ役となっている。
- ・全国組織。全国や地域単位で、取組の情報交換や研修を行うなど、つながる機会がある。メンバー同士は、会報誌に自分の得意分野を紹介したり、座学や実技を覚えるための内部研修でコミュニケーションを図り、そこで人となりを知る。3か月に1回開催し、メンバーの7割以上の参加がある。

(4)活動をする中での所感

- ・2年の任期を務めるのは大変と感じていたが、会社では味わえない人との関わりがある。ピラミッド型ではなく、若い人に年配の人が教えてもらったり、いろいろな立場の人とのつながりから情報も入る。会社でのストレスを忘れていたときがあり、そうした積み重ねで今がある。
- ・退職して時間に余裕がある方も現役の方もいろいろな年代がいるのがよい。それぞれ動きやすい時間帯を担当するなど、誰もが無理なく参加できるようにする。無理しないことを大事にして、楽しさを味わいながら実施できる活動を作ることが必要。自分自身が楽しくなければ来た人も楽しくない。また、自分の活動を認めてもらうこと、出番があるから続けられる。みんなが動かなければ始まらない。

まちづくりコーディネーター（まちコ）のネットワーキングに関わるヒアリング

②西部自治区

●2021年12月6日実施 ●まちコ：桑畑、水鳥

■西部地区の概要（自治会長は大野委員）

- ・約960世帯、班は6組。内、約270世帯を占めるアイシン精機独身寮の部分の班長は自治会長が兼任。
- ・公民館の役員は、館長、副館長、会計。文化部、広報部、体育部、老人会、婦人部、少年部（子ども会）が活動する。
- ・隔月で全体の役員会を行う他、役員会のメンバーを福祉委員を兼任し、福祉委員会も持つ。
- ・元気な地域応援交付金の申請時に住民会議をまちコに依頼したことがある他、同事業にて「お宝さがしウォーキング」を行う時に、企画から運営まで、まちコが6人関わった（2019年度）

(1)お宝さがしウォーキングをまちコと一緒にやってみて&今年度のお宝さがし

- ・ねらいは、親子で地域を一緒に歩いて、地域に親しんだり、危険個所の認識＝災害の意識を持つこと。
- ・2019年度のお宝さがし（初回）は、地区と公民館がバラバラに活動している状態で、班長や地区委員だけでやろうと思った。そこに、まちコと、ふるさとガイドボランティアに手伝ってもらった。ふるさとガイドはポイント選びと説明文をつくる役割、まちコには、ゲームなど企画から関わってもらった。
- ・2021年度はまちコが関わっていない。2020年度にコロナ禍で市民館での文化祭の代わりに「おうちで文化祭」と称して写真集&全戸配布を行う過程で実行委員会を作るベースができたので、2021年度は今年10人の実行委員会を作って運営した。社協や万燈祭世話人にも協力いただいた。実行委員会をつくるよいところは、分担ができること。

(2)防災のまちづくりと、まちコへの期待

- ・防災も、色々な団体の協力を得て行っている。亀城小学校が指定避難所になっており、西部地区の他、中部地区、熊地区の一部にとっても避難所になる。市作成の避難所運営マニュアルは、地区情報を入れてにカスタマイズする必要があるので、1年半かけて学校と打合せし、色々な人の協力を得て「亀城小学校運営マニュアル」を作成した。要支援者についても、民生委員と組長が相談して心配な方の情報を共有した。
- ・まちコは、地域の中で、自主防災会と学校を「つなぐ役割」が果たせると思う。避難所運営は、自主防災会と学校との連携は欠かせないが、自主防災会は毎年人が変わってしまうし、学校の先生も具体的には何をしたらよいかかわからない状況もある。だから、勉強会をして、その地域に応じた避難所運営マニュアルをつくる必要がある。そのお手伝いができるのではないか。

(3)まちづくりのネットワークについて

- ・地域にはまちコに登録されていなくても、まちづくりをやっている人は沢山いる。が、その連携が作れていない。つながりづくりをするとすると、とかく「組織」をつくることを想定するが、協議会の会長さんがいても動かない。端っこで動く人をたくさん作っていかないといけない。
- ・つながりづくりには、組織体よりはイベントがよい。例えば、市内のまちづくり大会で自慢をしよう、真似したり、いいところ取りをしようとする人は出てくるだろう。標準事例を紙にまとめて見せても広がらない。まちコさんはそうしたイベントに関わるのではないか。

(4)まちコへのメッセージ

- ・以前、住民会議で、まちコは「自分はファシリテーターなので、自分の意見は言うてはいけないと思っている」、地区は、「まちコから何かアイデアがもられると思っていた」と食い違いがあった。自治会役員は、お役が回ってきたから引き受ける人が多く、去年と一緒にやるケースが大半。元気な地域応援交付金は、そこに一石投じ、住民会議をして新しい活動を増やしていこうとするもの。まちコが「これやりなさい」と言うてはダメだけど、会議で「これをやりたい」という意見が出てきたら、それなら「こういう方法がありますね」とアイデアを伝えてコーディネーションしてもいいと思う。
- ・色々な引き出しを持っていて、組み合わせを見せてあげる。でも、そこから先はあなたたちでやるということになる。レポートづくりで活動現場を回っているので、そこで得た情報とつないであげるとよい。

【参考】連携していきたいコーディネーターやコーディネーターを抱える組織

- ・刈谷市自治連合会
- ・刈谷市女性の会連絡協議会
- ・刈谷市子ども会育成連絡協議会
- ・刈谷市いきいきクラブ連合会
- ・スポーツ推進委員
- ・民生委員・児童委員
- ・地域学校協働活動推進員
- ・市民ボランティア団体
- ・NPO法人
- ・企業

3 令和3年度、令和4年度における市民が参加する会議等について

資料3

開催時期	参加者数	会議・アンケート等の名称	会議・アンケート内容	会議の司会・進行	担当課
令和4年8月	20名	刈谷みらい共創ワークショップ	スマートシティ構想策定に当たり、刈谷の「ありたい未来の姿」について考える。	コンサルタント	企画政策課
令和4年5月～12月	29名(うち公募により市民委員は3名)	刈谷市総合計画審議会	第8次刈谷市総合計画の策定に向けた審議を行う。	大学教授	企画政策課
令和4年5月	5,000名	市民生活の現状に関するアンケート	市内在住の18歳以上の市民を対象に、「市政に対する評価」「暮らし・まちの現状把握」についてアンケートを実施。	-	企画政策課
令和4年5月	2,898名	児童・生徒の意識や行動に関するアンケート	市内の小学5年生、中学2年生を対象に、「普段から思っていることやまちに対する考えなど」についてアンケートを実施。	-	企画政策課
令和3年10月、令和4年3月、10月、令和5年3月	13名(うち公募により市民委員は2名)	刈谷市国際化・多文化共生推進委員会	刈谷市国際化・多文化共生推進計画の推進に関することについて話し合う。	大学名誉教授	市民協働課
令和4年11月	2,000名(日本人:1,000名、外国人:1,000名)	国際化・多文化共生のまちづくりのためのアンケート(仮称)	市民の国際化・多文化共生に関する意識等を調査する。	-	市民協働課
令和3年7月、10月、令和4年1月、8月、11月	12名(うち公募により市民委員は2名)	刈谷市男女共同参画審議会	刈谷市男女共同参画プランの進捗状況や男女共同参画の推進に関することを話し合う。	大学教授	市民協働課
令和3年5月、10月、令和4年3月、5月、10月、令和5年3月	16名(うち公募により市民委員は3名)	刈谷市共存・協働のまちづくり推進委員会	基本方針のめざす姿を軸として、共存・協働の推進に関する必要事項を、「自分ごと」と「つながりあい」を基本に、まちづくりを担う各主体が対等な立場で話し合い、情報の共有や意見交換を行う。	大学教授	市民協働課
令和4年11月～12月	2,350名	障害者計画及び第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画策定アンケート	手帳所持者もしくは障害福祉サービスまたは障害児通所支援等を利用している人を対象にアンケートを実施する。	-	福祉総務課
令和4年6月中旬～末日	156名	高齢者のデジタル支援のためのアンケート	刈谷市DX推進計画で示された柱“便利さを実感できる市民者のくらしのためのDX”を前提に、高齢者向けの新たなサービスを設計するにあたり、ニーズ把握のためのアンケート調査	-	長寿課
令和4年12月	6,200名	高齢者等実態調査	「刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画」の見直しを行うにあたり、策定の基礎資料とするため、無作為抽出により選定した市民を対象にアンケート調査を実施する。	-	長寿課
年4回(例年6、9、11、2月開催)	15名(うち公募により市民委員は2名)	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画懇話会	刈谷市介護保険事業計画及び刈谷市高齢者福祉計画の策定、推進及び見直しと、公正・中立性を確保した地域包括支援センター並びに地域密着型サービス及び地域密着型介護予防サービスの適正な運営を確保するため市民の意見を反映させる。	-	長寿課
令和4年1月、7月 令和5年1月	17名(うち公募により市民委員は3名)	刈谷市都市計画マスタープラン策定委員会	都市計画マスタープランの策定に関し、意見をいただく。	大学教授	まちづくり推進課
令和4年7月	45名	都市計画決定・変更に関する説明会	都市計画の原案について住民に説明する。	なし (オープンハウス形式)	まちづくり推進課
令和3年12月	1,900名	公共交通に関するアンケート調査	日常生活の移動手段や公共交通に関するご意見を把握し、今後の公共交通のあり方を検討する。	-	都市交通課
令和3年12月、令和4年3月、4月、6月、8月、10月	50名	市民公園づくり会議	公園の「取り組むべき施策・事業アイデア」について話し合う。	司会:市 進行:コンサルタント	公園緑地課
令和3年11月	1,800名	公園利用者へのアンケート調査	公園の利用実態調査	市職員	公園緑地課
令和4年8月	—	オープンハウス(パネル展示)	市民公園づくり会議でまとめた内容を公園利用者に意見を伺う	市職員	公園緑地課
令和4年10月(予定)	—	刈谷市駅前地区まちづくりプラン検討業務の一部として行うアンケート	刈谷市駅前に求める機能及び施設について、駅利用者を対象にアンケート調査を行う。	-	市街地整備課
令和3年7月17日～8月1日	154名	刈谷市中央図書館の開館時間等に関するアンケート	刈谷市中央図書館の開館時間等に関する意見を幅広く収集するため	市職員	生涯学習課 中央図書館